

大泉町教育委員会議録

1 日 時 令和4年9月27日(火) 午後1時30分から午後2時30分まで

2 出席者

柴崎教育長、福田委員、秩父委員、大塚委員、大野委員

3 出席職員

千吉良教育管理課長、前田教育指導課長、金井こども課長、村田生涯学習課長、井田書記

4 傍聴人

1名

5 議事、協議及び報告事項

議案第24号 大泉町スポーツ推進委員の補欠委員の委嘱について

議案第25号 大泉町教育委員会事務局職員の人事異動について

教育長報告 (1) 令和4年第4回大泉町議会定例会について

(2) 全国学力・学習状況調査について

その他 (1) 町教育委員会後援事業について

6 議事内容

柴崎教育長 これより教育委員会議を開会いたします。

本日、議案の中に人事案件がございますので、そちらについては秘密会とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

はじめに、日程第1 前回会議録の承認について、事前に配布させていただきました会議録について、何かご意見等ございますでしょうか。

(なし)

ないようですので、7月26日の会議録のご署名を、秩父委員さんと大塚委員さんに、8月17日の会議録のご署名を、大野委員さんと福田委員さんをお願いいたします。

続きまして、日程第2 附議事項に入ります。議案第24号 スポーツ推進委員の補欠委員の委嘱について、事務局より説明をお願いします。

村田課長 はい。

柴崎教育長 村田生涯学習課長。

村田課長 それでは、資料の1ページをご覧ください。

議案第24号 スポーツ推進委員の補欠委員の委嘱について説明いたします。第19区自治会のスポーツ推進委員が都合により9月30日をもって委員を辞任することから、仙石公民館長を通して別府 剛美さんが推薦されました。別府 剛美さんにつきましては、役員歴として仙石公民館役員を経験されております。

任期につきましては、残任期間となる令和4年10月1日から令和6年3月31日まででございます。

以上説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

柴崎教育長 説明が終わりましたが、ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。

(なし)

ないようですので、議案第24号について承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

挙手全員により議案第24号は承認いたします。

続きまして議案第25号 大泉町教育委員会事務局職員の人事異動についてですが、人事案件でするので秘密会とさせていただきます。

(非公開)

それではここで暫時休憩いたします。

(休憩)

それでは再開いたします。

続きまして、日程第3 教育長報告に移ります。

はじめに、(1) 令和4年第4回大泉町議会定例会について、事務局より説明をお願いします。

千吉良課長 はい。

柴崎教育長 千吉良教育管理課長。

千吉良課長 それでは、令和4年第4回大泉町議会定例会議事内容についてご説明いたします。

本日お配りした概要の資料をご確認下さい。主に教育部に関わるものを中心に説明させていただきます。第4回定例会につきましては、令和4年9月6日が初日でございます。日程第8 議案第32号 令和4年度大泉町一般会計補正予算(第2号)について、教育委員会所管事務に関する補正予算の計上がございます。規定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、7億7,298万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ155億4,341万4千円とするものがございます。その中で、歳出に南小学校校舎長寿命化改修工事の追加工事費を計上させていただいております。金額については、2,299万円が追加工事費として増額させていただいたものになります。

また、資料の日程第13 議案第37号から日程第18 議案第42号まで令和3年度の決算ということで、一括での上程ということになりました。令和3年度の予算総額といたしましては、233億6,358万5千円となります。また、歳入総額につきましては、229億1,928万377円。ならびに、歳出総額につきましては、221億6,582万1,573円でございます。差し引き7億5,345万8,804円の黒字決算という状況でございました。

この一括上程の中で、町長より教育委員会の事務も含めまして、答弁をいたしております。教育部の区分といたしましては、生涯学習となります。夢とやさしさをもって、生き生きと学ぶまちについて。学童保育については、受入時間の延長を行い、

働く親の負担軽減に努めた。タブレット端末の活用を進め、臨時休校や分散登校時にオンライン授業を実施し、効果的な家庭学習の実践に取り組んだ。施設整備については、南小学校校舎長寿命化改修工事に着手した。また、生涯学習講座では、コロナ禍による運動不足やストレス解消のため、親子で楽しめる講座を開催した。なお、放課後子ども教室については、町内全小学校区において実施した。などの報告が教育部関係としての決算認定の際の町長答弁の内容でございます。

また、9月8日につきましては、2名の方から一般質問を受け付けました。今回の定例会につきましては、教育部関係の質疑はございませんでした。以前に配布しました資料に一般質問の内容をまとめさせていただいております。前資料の4頁をご覧ください。

まず議席14番 渡邊明議員より、マイナンバーカードの利活用についてということで、マイナンバーカードの導入状況、また、交付の状況、導入の投資効果などについて質問を受けております。個人情報保護、またはデジタル化の社会を将来的に迎えている中で、マイナンバーの持つ効果はどのようなものかという内容の質問がございました。マイナンバーカードの交付率が低いという点がございまして、マイナンバーの取得率向上に向けて町全体で努力していくという内容の答弁がございまして、また、セキュリティをしっかりと守りながら、今後利用の範囲が拡大していくことが想定されますので、県・国と歩調を合わせながら取得率向上に向けて取り組んでいきたいという内容の答弁をいたしております。なお、所管課につきましては、住民経済部 住民課でございます。

また、議席1番 川田隆志議員より中小企業の後継者対策についてという内容で質問がございました。主な概要といたしましては、町内の中小企業における後継者不足について、町としてどのような考えを持ち対応しているのかという主旨の質問でございます。所管課につきましては、住民経済部 経済振興課でございます。企業誘致係もございまして、町の融資制度等中小企業の支援策を用いながら後継者不足に対応できるよう取り組んでまいりたいという内容の答弁をいたしております。また、2点目の都市計画道路小舞木寄木戸線の進捗状況等ですが、用地買収等を行いながら計画に沿って進めてまいりたいという内容の答弁がございました。所管部署といたしますと、都市建設部での対応となります。

また、道路・公園等の管理についてということで、道路の陥没や公園の遊具の損傷状況等の情報を収集して、SNSを利用し、広く町民へ周知することを求めたいという質問がございました。主旨としましては、そうすることにより町民が施設等を利用する前に現況を把握することができるため、利便性が向上するのではないかとございまして、有効的な施策と考えられるので、調査研究を進めてまいりたいという内容の答弁をいたしております。以上が2名からの一般質問の答弁の内容となります。

本日お配りした資料にお戻り下さい。令和4年9月22日最終日の追加議案について説明させていただきます。教育管理課にて所管しております、南小学校校舎長寿命化改修工事の変更契約を専決処分にて行った旨の報告を追加議案として報告しております。

変更前の契約でございますが、10億4,500万円。この度の追加工事の予算額2,299万円を増額いたしまして、契約変更後の金額が10億6,799万円になるものでございます。令和4年9月6日付、専決処分により変更契約を締結した次第でございます。以上が報告内容でございます。

また、新たな追加議案といたしまして、議案第43号。総務部 安全安心課にて購入予定の災害用トイレトレーラー購入に係る案件でございます。急激な円安の影響や、調達コストおよび人件費等の高騰による231万円の増額ということで、契約額が2,397万8千15円へ変更になるという内容でございます。

請願第1号、発議第5号については、記載の通りでございます。

なお、より詳細な内容につきましては、町ホームページにて確認していただけます。以上で令和4年第4回大泉町議会定例会の説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

柴崎教育長 説明が終わりました。ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。

(なし)

次に、(2)全国学力・学習状況調査について、事務局より説明をお願いします。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 それでは、全国学力・学習状況調査について説明させていただきます。

事前配布資料と本日お配りした資料をご準備下さい。

調査教科は小学校は国語、算数、理科、中学校は国語、数学、理科。理科については4年に一度の実施となっております。また、該当学年については、小学校6年、中学校3年となっております。また、子供たちの学習や生活習慣、ICT機器の活用についての質問紙調査も一緒に実施されました。

それではまず、本日配付いたしました「調査結果概要」の資料をご覧ください。この資料は、各教科の結果の概況でございます。まず、小学校ですが、国語・算数・理科について、全国や県の正答率と比べ「低い」という結果でございました。続いて中学校ですが、国語・理科については、全国や県の正答率と比べ「やや低い」という結果、また、数学については「低い」という結果でございました。

続きまして、事前配付いたしました資料についてご説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。これは、小学校国語・算数・理科の教科の問題ごとに、正答であった児童の割合を示したグラフでございます。グラフが示すとおり、国語は、ほぼ全国・県と比べ上位層(12問~14問正答)が少なく、下位層(0問~5問正答)の割合が多くなっております。算数については、上位層(11問~16問正答)が少なく、下位層(1問~5問正答)の割合が多くなっております。

資料2ページをご覧ください。理科では、中上位層(9問~17問正答)が少なく、中・下位層(1問~8問正答)が多くなっております。

続いて7ページをご覧ください。こちらは中学校のグラフですが、国語は全国・県と比較すると、上位層(12問~14問正答)が少なく、中位層(9問~11問正答)の生徒の割合が多くなっております。数学については、上位層(12問~1

4問正答)が少なく、下位層(0～2問)中位層(6問～7問)が多く見られ、全国や県の山より高くなっています。10問以上正答の生徒は、全国・県より割合が低くなっておりま

す。資料13ページをご覧ください。理科では、中位層(11問～13問)及び上位層(16問・17問)が少なくなっており、中下位層(4問～9問正答)が多くなっております。各学校では、学校の授業と家庭での課題学習を工夫して取り組み、知識・理解の定着を図りましたが、3教科ともに下位層の割合が高く、基礎基本の定着を一層図る必要があるという結果になりました。課題解決に向けては、日々の授業の中で、基礎的・基本的事項を繰り返し取り組ませながら、上位層の「思考・判断して活用する力」を伸ばしていくように授業改善を行っていく必要があると考えております。今後、2学期末の12月には、小学校1年生から中学校2年生を対象とした、標準学力検査を実施いたしますが、今回の全国学力調査での結果、数字で現れている課題の解決するための取組を推進し、各校の児童生徒の学力向上を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、資料の3ページをご覧ください。小学校児童の質問紙の結果でございます。全国と比べて高かった項目をいくつかあげますと、項目9 将来の夢や目標を持っていますか。項目33 週3回以上授業中に自分で調べる場面でPC・タブレットなどのICT機器を使っています。項目39 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分で取り組んでいましたか。今住んでいる地域の行事に参加していますか。以上となります。

逆に低かった項目をあげますと、項目6 1日あたり2時間以上SNSや動画視聴をしますか。項目7 自分にはよいところがあると思いますか。項目8 先生はあなたのよいところを認めてくれると思いますか。以上が残念ながら低かった項目となります。自己肯定感が低いことが表れておりますので、学校も今後一層工夫していく努力が必要であると考えております。

続いてこの質問紙の考察となりますが、資料の6ページをご覧ください。4項目について考察をさせていただきました。

一つ目として、家庭での学習習慣についてです。平日1・2時間程度の家庭学習には取り組んでいる。読書の習慣は身につけているが、活字を読む習慣が低いという結果がでておりますので、さらに家庭学習の「質の向上」へつなげていく必要があると考えております。タブレットや携帯電話の普及により活字離れが進んでいるという現状がありますので、それについても意識をして指導していく必要があると考えております。

二つ目として、表現に関することについてです。ICT機器を積極的に授業で活用している様子が伺えます。ICTの頻度は高くなったが、表現する活動での使用は少ないことが伺えます。今後は使用頻度を上げるとともに、思いを伝える活動の一助となるように効果的な活動が求められます。各学校では、相手意識を持って表現力を高めようということに取り組んでおりますが、ICT機器を用いますと難しい部分もでてきますので、今後一層の努力をしていく必要があると考えております。

三つ目として、いじめは決していけないということです。96.3%と高い割合で

はありますが、100%を目指していきたいと考えております。

最後に教科についてですが、勉強が大切だと思うなど、有用感を感じ、教科の学習に対して、前向きに取り組んでいる児童が多く見られます。今回のテストで全ての問題で最後まで回答を書こうと努力した児童は全国と比べて大きな差があります。学習の理解、考えを深める力などを育成する活動を意図的に設定し、最後まで粘り強く問題へ取り組む姿勢も、併せて向上させていきたいと考えております。

続いて、中学校生徒の質問紙の結果ですが、9頁から11頁となります。全国と比べて高かった項目をいくつかあげますと、項目17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか。項目30 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。項目33 週3回以上授業中に自分で調べる場面でPC・タブレットなどのICT機器を使っていますか。項目37 勉強のために1時間以上ICT機器を使っていますか。項目57 数学で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。この結果から、自分で考えを持って取り組んでいる生徒が比較的多いという印象を持っております。また、タブレットについては授業での活用が進んでいるという結果が表れておりますので、今後も推進する必要があると考えております。

逆に低かった項目をあげますと、項目7 自分にはよいところがあると思えますか。項目14 困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。項目20 家で自分で計画を立てて勉強していますか。項目43 学級の生徒との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。小学校と同様、自己肯定感が低くなっている点が気になります。また、多感な時期でもありますので、相談しづらいという状況も考えられますが、周りの大人に素直にSOSを発信したり、相談できたりするという状況が学校でも求められていると思われまますので、その点についても学校と連携していきたいと考えております。

続いてこの質問紙の考察となりますが、資料の12頁をご覧ください。こちらにも4項目について考察をさせていただきました。

一つ目は、家庭での学習習慣についてです。こちらについては概ね身についているという結果となっております。しかしながら、塾等の家庭以外での学習の割合が多くなっており、さらに家庭学習の「質の向上」へつなげていく必要があると考えます。そのためには、ゲーム等の時間の制限が必要であると考えております。

二つ目は、表現に関することについてです。ICT機器を積極的に授業で活用している様子が伺えます。自分の考えを発表する際、うまく伝わるように意識したなど、表現活動に意欲的に取り組んでいる様子が伺えます。小学生よりも表現活動にICT機器を利用している印象を受けますので、より周知を図っていきたいと考えます。

三つ目は、いじめは決していけないという項目です。98.1%と小学校同様高い割合ではありますが、100%を目指していきたいと考えております。

最後に教科についてですが、教科の学習に対して、前向きに取り組んでいる生徒が多く見られます。学習を前向きに捉えている。国語・数学・理科ともに社会に出て役に立つなど、有用感を感じているが、学習の楽しさや理解につながっていないと

いう結果になっています。小学校同様、3教科ともに回答の途中で諦めてしまう生徒が多かったといえることについては、最後まで取り組める姿勢を、併せて向上させていきたいと考えております。

教育委員会としての今後の取組ですが、まず学力テスト・学習状況調査の分析について進めていきたいと考えております。各学校へ自校の分析を依頼しまして、現在取り組んでいるところでございます。

対策といたしましては、一つ目として、校長会議や現在実施中の「後期学校訪問指導」での指導・助言を行ってまいります。二つ目としましては、結果を受けての、各学校の対応策・改善策の確実な実施と確認。三つ目としまして、各学校の学力向上対策の取組。四つ目として、分析結果を踏まえた、教員の授業改善の実施。以上について取り組んでいきたいと思っております。

最後になりますが、結果の分析を今後の学習指導に生かすとともに、校長・教頭とも連携を図りながら、各校の課題を改善し、児童生徒の学力向上に努めてまいりたいと考えております。

以上で説明とさせていただきます。

柴崎教育長 説明が終わりました。ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。

大野委員 はい。去年も大泉町は全体的に低かったという結果がある中で、令和4年度は全国と群馬県ではそれほど結果に違いはないが、大泉町はかなり下がっているというのは、非常に不安を感じます。

それに関連して、資料9頁の質問5、質問6にゲームや動画についての質問があるが、例えば、質問6では動画視聴が2時間以下という回答が4割ということは、残る6割の人は平日2時間以上動画を視聴しているということになるので、いつ勉強しているのかという疑問が生じます。

また、このことが質問20から質問23にある、自宅での学習時間についての結果が下がっているということにも関連していると思われるので、早急に家庭とも連携して対応を考えていく必要があると考えます。

このままでは子ども達自身も今後苦勞してしまうということが想像されます。学校ではICT機器の活用が増えているというのは感じ取れたが、自宅での活用についてはまだ増えているとは言えないので、そういった点も考えていく必要があるのではないかと思います。

柴崎教育長 ありがとうございます。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 貴重なご意見ありがとうございます。

小学校6年生と中学校3年生が対象ですので、もし同様の結果が来年・再来年と続くと、心配になってしまいますが、今年の結果を生かして、学校には校長会を通していろいろと対応していきたいと考えております。

近年、携帯の保有率が増加傾向にありますので、今後は家庭にも利用の制限等をお願いしていくことも大切になってくるのではないかと考えております。学校と連携しまして、少しでも児童生徒の学力が向上するように努力してまいります。

柴崎教育長 他にご意見等ございましたらお願いします。

大塚委員 はい。正答率の差についてですが、群馬県と全国では差はないが、大泉町は正答率が低いという結果ですが、地域による学力差というのは把握していますか。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 全て正確に把握しているわけではございませんが、とても高い地区があると聞いております。また、東毛地区は若干低いとの確認をしております。

大塚委員 東毛地区の中での学力差というのは把握していますか。

前田課長 東毛地区の中での差は把握しておりません。

大塚委員 日本に来てまだ間もなく、日本語が拙いという人もいるかと思うので、そういった児童生徒を除いた学力も把握してみると、今後の対応もまた変わってくるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 全国学力テストについては、できる限り全員に受けてもらうという動きがありますので、本町の場合、どうしても低い結果となってしまう部分がございます。

大塚委員 手作業になってしまうかもしれませんが、正確な数値でなくても良いので、まだあまり日本語が理解できていないという児童生徒を除いた学力というものも把握していただき、その結果に対して今後の対応を検討していただきたいです。

前田課長 わかりました。

柴崎教育長 他にご意見等ございましたらお願いします。

福田委員 はい。質問14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。という質問に対する結果が8.5%も下がっている。この結果は不登校等の要因になっていると考えられる。大泉町は不登校等の問題に力を入れているが、それでもなお結果が下がっているというのは、今後も不登校が増加してしまう可能性があることを示唆しているのではないか。今回の結果についてよく分析していただき、ぜひ対応を検討していただきたい。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 貴重なご意見ありがとうございます。各学校で行っている学校評価というものがございまして、その中にも相談はできますかという項目があり、年によって低い結果がでることがあります。やはり年齢が上がる程相談しづらいという点があるようですので、児童生徒が遠慮なく相談できるという環境を整えていけるように、努めてまいります。

柴崎教育長 他にご意見等ございましたらお願いします。
(なし)

それでは、日程第4 その他ですが、教育委員会後援事業について説明をお願いします。

村田課長 はい。

柴崎教育長 村田生涯学習課長。

村田課長 生涯学習課から2点お伝えさせていただきます。まず資料の5頁をご覧ください。町教育委員会の後援事業でございます。こちらについては、記載の通りの後援日程となっております。

もう1点ですが、本日配布いたしました資料の「令和4年度 町ぐるみ人権教育推進大会の開催について」をご覧ください。こちらにつきましては、11月8日午後1時30分より行う予定となっております。

内容といたしましては、町内3中学校の代表生徒による人権作文の発表。また、公演といたしまして、パラリンピック競泳 金メダリスト 成田真由美さんの公演を予定しております。お越しいただける場合は、事務担当へのご連絡をお願いいたします。以上でございます。

柴崎教育長 他に事務局から何かありますか。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 小学校の運動会について説明させていただきます。令和4年10月22日（土）を予定しております。種目等を工夫し、縮小実施となります。来賓の招待をいただくが、保護者の参観も制限させていただき実施させていただきます。以上となります。よろしくお願いたします。

柴崎教育長 他に事務局から何かありますか。

金井課長 はい。

柴崎教育長 金井こども課長。

金井課長 町立保育園の運動会について説明させていただきます。3町立保育園につきまして、令和4年10月15日（土）に実施いたします。小学校同様、ご来賓はいただくが、規模を縮小しての実施となります。

保育園につきましては2部制になりまして、まず午前中は1時間半、3才児までの運動会を実施し、その後入れ替えを行いまして、お昼まで4、5才児の運動会を実施いたします。保護者の参観につきましては、年長については2名まで、その他は1名とさせていただきます。以上です。

柴崎教育長 委員さんから何かございますか。

福田委員 はい。先日県の教育委員会から、夏季大会と一緒にするので、中学生の春季大会を中止にするとの連絡がありました。そういった連絡というのは町にも打診があるものなのでしょうか。

東毛地区大会も春季大会もなくなってしまい、子ども達の活躍の場が少なくなってしまい、かわいそうに思う。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 打診はございませんでした。決定事項が1週間程前に連絡がきたという状況です。

福田委員 先生達が大変だから負担をなくしていこうというのではなく、子ども達の視点で考えていくのが教育のあり方ではないかと思う。

柴崎教育長 ありがとうございます。他に委員さんから何かございますか。

大野委員 はい。大泉町のデジタル教科書導入の進捗はいかがでしょうか。

前田課長 はい。

柴崎教育長 前田教育指導課長。

前田課長 今年度英語については、小学校5年生以上へ全て導入しております。それ以外については体育や技術、音楽といった技術教科系を各学校へ振り分けまして、実証実験中でございます。

大野委員 デジタル化が進んで欲しいとも思うが、それにより先生方の負担が増え、部活に顔を出せないなどといった影響も考えられるので、難しいと思うが、子ども達と先生達とのコミュニケーションの機会が減ることがないように、うまくバランスを取って進めて行っていただきたい。

前田課長 貴重なご意見ありがとうございます。デジタル化についてはあまり難しいことはせず、子ども達と教員の触れ合う時間が減ることがないように進めてまいりたいと思います。

福田委員 デジタル化についても先生の視点ではなく、生徒の視点で考えてもらいたい。子どもが「使いやすい」、「便利だ」など、どのように思っているかということに重きを置いてもらいたい。子ども達の本音の意見を汲み取ってもらいたいと思う。

前田課長 ご意見ありがとうございます。

柴崎教育長 他に委員さんから何かございますか。

秩父委員 はい。最近送迎バスの置き去り、確認の問題等あるが、町立保育園はバスの運営がないわけですが、町内にある民間の保育園・幼稚園に対して、町としての注意喚起など何かしていることはありますか。

金井課長 はい。

柴崎教育長 金井こども課長。

金井課長 当該事件後、国から注意喚起が発出され、県経由で町にも通知が届きました。その通知を私立保育園・幼稚園へ配布してございます。また、その通知に併せまして、町からの園外活動についての注意喚起もいたしました。

そして、先日県から私立幼稚園への運行についての調査依頼が届きましたので、各私立幼稚園に確認し、集計の上、県に報告をあげたところでございます。

確認の結果としましては、バスの消毒をする際に併せて確認をしているということでございます。また、複数の園については登園確認システムを導入しており、そういったものを併用しつつ子ども達の確認をしているという状況でございました。

以上です。

秩父委員 今アプリの話もありましたが、先日亡くなった子もアプリでの管理であったので、それだけに頼らず併用しつつ、注意して対応してもらいたい。

また、園外活動等において、町立保育園でも起こりえることなので、よく連携をとって対応して行っていただきたい。

柴崎教育長 ありがとうございます。他に何かございますか。

(なし)

それでは、以上で教育委員会議を閉会いたします。

上記会議録は、正確であると認めます。

令和4年10月24日

署名 教育長

署名 教育委員

署名 教育委員